



山梨県立

甲府東高等学校



所在地 〒400-0805 甲府市酒折一丁目17-1

電話 055-237-6931

FAX 055-237-0686

URL <http://www.higasih.kai.ed.jp/>

E-mail info@higasih.kai.ed.jp

創立 昭和52年

課程 全日制

利用交通機関 JR中央本線酒折駅下車徒歩7分

JR身延線善光寺駅下車徒歩7分

路線バス（山梨交通・富士急行）酒折宮下車徒歩3分

教員数 59名

生徒数 714名

学科名	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
普通科	120	121	102	135	113	123

“いま！青春のはじまるところ”

自律の学舎

校訓「自律」のもと、心身ともに健康で、豊かな知性と高い志をもった人間の育成をめざして、日々の教育活動を推進しています。

『育てたい生徒像』として、

1. 自ら考え、自ら判断し、自らの考えをもって主体的に行動しようとする生徒
2. 他者を尊重し思いやり、他者のために動こうとする生徒

の二つを掲げています。

その実現のために、本校での3年間を通して身に付けてもらいたい力として、

1. 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力
(行動力/忍耐力/分析力)
2. 疑問を持ち、考え抜く力
(課題発見力/計画力/創造力)
3. 多様な考えをもつ人々とともに、目標に向けて協働する力

(共感力/表現力/ストレスコントロール力)

を掲げています。

現在、本校には県下全域から生徒が集まり、学習活動はもちろん、学校行事、部活動、ボランティア活動等に全力で取り組み、充実した学校生活を送っています。このように本校は、多様な友と出会い、学びを深め、夢を育み、人生を切り拓いていく基盤を育む場であります。

個性を伸ばす学習指導

二学期制・55分カセット方式の授業を実施することで年間最大35単位の授業時数を確保、新学習指導要領にも対応した柔軟な教育課程を編成し、3年間を見通した計画的な学習活動を展開しています。また、昨年度導入のBYODやICT機器を利活用した授業改善とそれに伴う観点別の学習評価を進める中で、個に応じた指導を実践して個性を伸ばす学習指導を行っています。

教育課程の特色

一人ひとりの学力を確実なものに

本校では、ほぼ100%の生徒が上級学校への進学を希望しています。こうした生徒の希望を叶えるため、少人数教育を行い、基礎学力を充実させるとともに、応用力を養うきめの細かい指導を行っています。

普通コース

1年次は全クラス（理数コースを除く）を高習熟クラスと位置づけ、学習成績が均等なクラス編成をします。全員が同じ教育課程に従って少人数教育等で基礎学力を付けていきます。2・3年次は進路希望に応じて文系・理系の二類型に分かれます。類型ごと様々な科目を選択することで、進路希望の実現を支えます。

理数コース

1年次から専門科目を取り入れた教育課程で、より専門性の高い内容を学習します。2年次からは様々な科目の選択を可能にし、個々の進路希望の実現を支えます。

コロナ禍からの脱却と今後

数年来のコロナ禍も収束の兆しを見せ、授業は勿論、ここ数年できなかった学校行事や、生徒同士・生徒と教職員との関わりも以前のように活発になり、ようやくコロナ禍前の姿に戻りつつあります。今後は、コロナ禍で得た知見を踏まえてリモートやオンラインを効率良く取り入れ、アフターコロナの学校生活を再構築していく必要があります。その中でも、生徒の行動力は目を見張るものがあり、これまでの学校生活を取り戻すべく精力的に諸活動を続けています。生徒総会では、数年ぶりに通常開催となる学園祭について、上級生を中心に活発な意見交換がなされ、多くの生徒の署名とともに要望も出されました。また、頭髪やスマホ使用の規程に関しても、自分達の学校生活をより良いものにするための建設的な意見が数多く出されました。改めて、生徒のエネルギーを感じるとともに、今後もそれを生かすべく、生徒のための自主的・自律的な教育活動の実践を目指します。



“のぞみ高く” 充実したキャリア教育

本校は、県内普通科高校の中でも顕著な進学実績を上げています。これは、綿密な進路指導計画のもと、各教科担任や学級担任が、生徒一人ひとりを生かし大切にすきめの細かい指導を行い、一丸となって生徒の進路希望実現のために努力してきた結果です。

進路希望の明確化

本校に入学するとすぐに新入生オリエンテーションがあり、ここで高校生活のあるべき姿や進路実現に向けた学習方法など様々な角度からのガイダンスを実施します。また、担任との二者懇談、保護者を交えた三者懇談、さらにLHRや総合的な探究の時間などの進路学習を通して、生徒自らが早い段階で将来に対する展望とその実現のための方策を明確にできるようにサポートします。

多彩な学習支援体制の構築

「予習→授業→復習」のサイクルをしっかりと確立するために、予習・復習の方法についての指導も徹底しています。また、生徒の学習に対する意欲も高く、教室や職員室・廊下などで質問をしている姿が日常的に見られます。教師は、いつでもどこでも生徒の質問に答えられるようにしています。

そのほかに、早朝・放課後及び日曜・祭日の自主学習、夏季休業中の夏期講座や登校学習など、多くの学習機会を設けており、ほとんどの生徒が積極的に参加しています。個々の学習スペースがパーティションで区切られた本格的な自習室も完備しており、生徒は自由に使用することができます。全学年が同じスペースを共有することで、学校全体に学習文化が根付いています。

土曜日の学習機会確保

土曜日の午前中も学習できるように以下の体制を整えています。

1・2年生では、国語・数学・英語を中心に、主として基礎的補習・発展的補習を実施しています。3年生では、理科・地歴公民を中心とした大学入試対策講座を行っています。これらの講座に参加することで、一層の学力向上が図られるようになっています。

魅力ある理数コース

平成9年に設置された理数コースでは、高い学習意欲を持ち、特に数学や理科に興味・関心があり、将来科学技術や医療の発展に貢献したいと思っている生徒に、科学的事象の探究方法を身につける指導を取り入れています。理数数学、理数物理、理数化学、理数生物、理数探究基礎などコース独自の専門性の高い科目をカリキュラムに取り入れ指導します。また、実験などにも十分な時間をとり、自ら考え自ら問題を解決して行く力の育成を目指します。

「理数コース センス・オブ・ワンダー」では、施設見学や外部講師の招へい等で最新の科学技術にふれる機会もあります。そこから得た知見を生かして、探究活動にも取り組みます。

理数コースの生徒はその多くが難関国公立大学への進学を目指して努力し、充実した高校生活を送っています。卒業生については、社会に貢献し、第一線で活躍している人材を多く輩出しています。

豊富で活発な部活動

本校には、体育局18部、文化局13部、合わせて31の部と2つの同好会があり、それぞれの目標に向けて熱心に活動しています。

近年、各部の活躍はめざましく、水泳(水球)部、ソフトテニス部、バドミントン部、テニス部、陸上部、弓道部、放送部、美術部、写真部、書道部、文芸・イラスト研究部などが全国大会や関東大会などに出場、あるいは出品しています。また、サッカー部、野球部、バレーボール部、卓球部、吹奏楽部なども好成績をあげています。

体育局

サッカー部、野球部、水泳(水球)部、バスケットボール部(男女)、バレーボール部(男女)、ソフトテニス部(男女)、バドミントン部(男女)、テニス部(男女)、卓球部、剣道部、陸上部、山岳部、弓道部



文化局

吹奏楽部、音楽部、放送部、美術部、軽音楽部、写真部、書道部、自然科学部、文芸・イラスト研究部、茶道部、調理研究部、演劇部、インターナショナル部



同好会

クイズ研究、ダンス

大学合格状況

(過去3年間)

主な国公立大学(計339)

北海道(4)、岩手(1)、東北(6)、茨城(1)、筑波(5)、宇都宮(1)、群馬(3)、埼玉(2)、千葉(10)、電気通信(3)、お茶の水(1)、東京外国語(2)、東京(1)、東京医科歯科(2)、東京学芸(3)、東京工業(1)、東京農工(4)、横浜国立(4)、上越教育(1)、新潟(2)、富山(1)、金沢(6)、福井(2)、山梨(115)、信州(13)、静岡(25)、愛知教育(1)、名古屋(5)、奈良女子(1)、京都工芸繊維(3)、大阪(1)、和歌山(1)、広島(1)、高知(1)、鹿児島(1)、国際教養(1)、茨城県立医療(3)、高崎経済(3)、埼玉県立(1)、東京都立(16)、横浜市立(3)、富山県立(2)、山梨県立(47)、都留文科(16)、長野(3)、長野県看護(1)、諏訪東京理科(3)、静岡県立(7)、静岡文化芸術(2)、名古屋市立(1)、神戸市外語(1)、高知工科(1)、大阪市立(1)、島根県立(1)、山口県立(1)、山口東京理科(1) 他

主な私立大学(計1240)

青山学院(11)、慶應義塾(6)、駒澤(23)、芝浦工業(22)、学習院(2)、北里(19)、上智(5)、成蹊(12)、専修(23)、津田塾(14)、中央(44)、東京女子(11)、東京農業(21)、東京薬科(24)、東京理科(22)、東洋(61)、日本(45)、法政(47)、明治(32)、明治学院(25)、立教(9)、早稲田(11)、神奈川(70)、山梨英和(24)、山梨学院(51)、立命館(14)、関西(5) 他